

(様式3)

環境教育推進校における研究成果報告書〔令和6年度〕

学 校 の 概 要	学校名	宮崎県立都城商業高等学校				
	所在地	〒885-0053 宮崎県都城市上東町 31 街区 25 号				
	校長名	大脇 光徳				
	生徒数		1 年	2 年	3 年	合 計
		男 子	43	49	62	160
		女 子	115	112	94	321
	学級数	学 年	1 年	2 年	3 年	合 計
		学級数	4	4	4	12
職員数	55					

研究の実績

[研究テーマ及び設定の理由]

「廃棄される焼酎芋の絞りかす等を活用した紙漉き文化の再生」

かつて都城市下長飯町では紙漉き文化が盛んだったが、紙産業の急成長と後継者不在のためその文化は衰退した。今回の研究を機に、地域でプロジェクトを立ち上げ持続可能な文化とし、紙の原料は都城産の楮と焼酎芋の絞りかす等を活用するため。

[推進の全体構想]

Ⅰ 運営組織

(外部評価)

(推進者)

(内部評価)

(連 携)

(企 画)

(実 施)

校長

学校評議委員会

運営委員会

職員会議

環境教育推進委員会

各学年

各教科

事務部

【課題研究】

紙漉き文化再生

プロジェクトチーム

共創ウェルビーイング部

都城市地域プロジェクト

柳田酒造合名会社

紙漉 福田

宮崎大学

地域資源創成学部

(予算管理)

2 本年度の主な研究実践内容


[課題研究]

「文化再生」と「環境保護」に着目。2つをかけ合わせて、持続可能な商品開発や、新しい産業を生み出すことを目標としてフィールドワークやワークショップを行う。

[共創ウェルビーイング部]

地域課題を洗い出し、課題研究と連携して地域を盛り上げるイベントを実施するなどかつての文化復興を目指す。

3 年間実施内容

月	取組の内容	
4	プロジェクトメンバーを募り目標達成に向けて連携する外部の諸機関や個人に相談する。	
5	フィールド・調査活動の実施 ・市内の宿泊施設内にあるクラフトルーム(和紙が使われている部屋)の視察	
6	市立図書館内の蔵書をあたり、地域の紙漉き文化について調べる ・下長飯町でフィールドワーク(地域に残っている紙漉きの道具、和紙の原料の楮の調査)	
7	紙の原料の楮を探す ・柳田酒造合名会社でフィールドワーク(焼酎を製造する過程で出る廃棄物を調査、商品開発の提案) ・和紙の原料である楮を校内で栽培(通年)	
9	ワークショップの企画・準備 ・市内の高校生を対象とした紙漉き体験と商品開発のワークショップ	
10	手漉き和紙キャンドルを商品開発 ・環境保護の視点でろうソクは近隣の寺等で廃棄予定のものを譲ってもらい、ろうソクの芯は紙漉きで作成した和紙の切れ端を利用。	
12	「和紙あか Re ナイト」実施 ・都城市中心市街地中核施設のイルミネーションを消してもらい、和紙あかりキャンドルを灯すイベント。イルミネーション実行委員会との調整に時間を要したものの、高校生の熱意が伝わり、実施できることになった。	
1	都城市立図書館でワークショップを実施 和紙を使用した商品を模索、来年度に使用する和紙の原料を収穫。	

[研究の実際]

(1) フィールドワーク・ワークショップ

①紙の原料の楮を探す

都城市下長飯町に残る紙漉き文化を探る。この取組の全行程を、地域における協力者である都城市地域プロジェクトマネージャー池田浩二氏、十文字学園大学松永教授に伴走していただきフィールドワークを行う。

②紙漉きレクチャー

宮崎県内の紙漉き職人「紙漉き 福田(綾町)」の福田雅美さんを講師に招いて霧島ホールディングスから焼酎芋の絞りかすやヤマエ食品工業の廃棄大豆等を提供してもらい、楮を混ぜた紙漉き体験を実施する。



③都城産の紙を使用した商品開発のためのワークショップ



宮崎大学地域資源創成学部谷田貝孝教授によるワークショップを実施。和紙には、地域事業所から出た産業廃棄物をトッピング。参加者の好みにより、押し花(花屋から廃棄される予定の花をもらってきて、押し花に加工)、焼酎のもろみ粕、茶葉(製造過程で出るもの)から選んでもらい、和紙の原料に混ぜて漉き込んだ。

④校外で地域住民に向けてのワークショップ

都城産手漉き和紙 商品開発 WORKSHOP

都城商業3年課題研究「紙漉き文化再生プロジェクト」×「環境教育推進事業」

都城産手漉き和紙を使った商品開発ワークショップを実施します。参加者のアイデアを募集し、紙漉き文化の再生と環境教育の推進を図ります。

2024.10.5 (土) 10:00~14:00

10:00~11:30 紙漉き体験
11:30~12:30 休憩
12:30~14:00 手漉き和紙を使った商品開発

講師 谷田貝 孝 (宮崎大学地域資源創成学部 教授)
*アート思考を使った商品開発ワークショップ

《実施場所》ウェルネス交流プラザ セミナールームB
《対象》高校生(事前申し込み制、定員20名)
《参加費》無料
《持ち物》手拭きタオル、筆記用具、昼食、飲み物等

主催 宮崎県立都城商業高等学校 環境教育推進プロジェクト
後援 都城産手漉き和紙プロジェクト
協賛 都城産手漉き和紙プロジェクト実行委員会

CONTACT
Eメール kakikazu@doccity.ac.jp
電話 0985-22-1758 連絡先 谷田貝 孝
【地図】0985-22-1758 地図検索 市庁 市庁(18.41.75)

QRコード

WEB FORM
2024年10月5日(土) 10:00~14:00
参加費 無料
定員 20名
※定員になり次第締め切ります



(2) 商品開発・イベント

①和紙あか Re ナイト



使用するキャンドルは、都城市中心市街地中核施設のまちなか広場に設置するため、400 個準備することになった。キャンドルに使用する瓶は、学校内及び地域事業所に回収の協力を呼びかけた。キャンドルのロウは、近隣の寺等に協力を依頼、細かく砕いて瓶に流し込んだ。また、廃業した文房具から廃棄寸前の書道用の和紙を譲ってもらい、和紙の原料とした。手漉き和紙が 600 枚近く必要になったため、3 学年に依頼し、LHR 時間を利用して、学年全員に和紙を漉いてもらった。



②和紙に花を咲かせよう

都城市立商業高校「紙漉き文化再生プロジェクト」×「ファッションラボ」コラボワークショップ

和紙に花を咲かせよう

2025年1月25日(土) 10:00-16:00
(12:00-13:30は昼休み)



色と花の型紙をえらんで、シルクスクリーンで和紙にプリントしてみよう! 都城市立商業高校「紙漉き文化再生プロジェクト」の高校生が製作した和紙を使用します。

時間
10:00-16:00 (12:00-13:30は昼休み)
※材料が無くなり次第終了します。

会場
ファッションラボ (都城市立図書館 2F)

対象
どなたでも (未就学児は保護者同伴)

参加費
無料

申込方法
当日会場にて随時受付
※15分程度で終わる内容です。

連絡先
都城市立図書館 電話: 0986-22-6239

HP
<http://mall.mall.info/library.html>

Instagram
@re_miyakonojo

●専用のインクを使用します。自然を再現しておりますが、意図のため汚れてもいい、作業しやすい環境でお願いします。



都城市立図書館で「ファッションラボ」とコラボレーションしワークショップを実施。
12月のイベント「和紙あか Re ナイト」で使用した和紙を再利用して、和紙にシルクスクリーンをするワークショップを行った。

[成果と課題]

- ・日本持続発展教育 (ESD) 推進フォーラム主催「ESD 大賞」全国優秀賞受賞
- ・「全国ユース環境活動発表大会」地方大会(九州・沖縄) 最優秀賞受賞
「全国ユース環境活動発表大会」全国大会 全国優秀賞受賞
- ・MRT 環境大賞 「キラリと光る活動賞」受賞



都城市副市長を表敬訪問し活動報告



地域産業への貢献：楮の栽培から紙漉き、商品開発までの一連のプロセスを体験することで、生徒たちは地域産業への理解を深め、その魅力を再認識した。これは、地域産業の担い手不足という課題解決に向けた意識改革に繋がり、将来的な地域活性化への貢献が期待される。また、地域産品とのコラボレーションによる和紙開発は、新たな商品を生み出すことで地域経済の活性化にも貢献できた。

伝統文化の継承：伝統的な紙漉きの技術を習得しただけでなく、地域住民にその技術を伝えるワークショップを開催することで、生徒たちは伝統文化の継承者としての自覚を育むことができた。ワークショップは地域住民にとって伝統文化に触れる貴重な機会となり、地域全体の伝統文化に対する関心の向上に繋がった。

循環型社会の実現：地域産品とのコラボレーションによる和紙開発は、地域資源の有効活用と廃棄物削減という観点から、循環型社会の実現に向けた具体的な取り組みとして注目を集めた。生徒たちは、環境問題に対する意識を高め、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動することの重要性を学んだ。

生徒の成長：プロジェクト活動を通じて、生徒たちは主体性、創造性、コミュニケーション能力、問題解決能力など、社会で必要とされる様々な能力を身につけ、大きく成長できた。これらの経験は、生徒たちの将来の進路選択やキャリア形成にも大きく役立つと考えられる。

4. 今後の課題

商品化に向けた取り組み：開発した和紙を活用した商品の魅力を更に高め、実用化・販売に向けて、デザイン、価格設定、販路開拓など、具体的な検討を進める必要がある。そのためには、専門家からのアドバイスを受けたり、地域企業との連携を強化したりするなど、外部との協力体制を構築することが重要となる。

情報発信の強化：本プロジェクトの成果や生徒の活動を地域内外に広く発信し、関心を高める必要がある。ホームページやSNSなどを活用した情報発信に加え、地域メディアへの広報活動や、展示会への参加なども検討する必要がある。

継続的な活動体制の構築：本プロジェクトを単年度で終わらせるのではなく、来年度以降も継続的に活動できる体制を構築し、地域との連携を強化する必要がある。そのためには、学校内での組織体制の整備、予算確保、人材育成などが課題となる。



5. まとめ

本年度の環境教育推進事業は、生徒たちの主体的な活動を通じて、地域産業の活性化、伝統文化の継承、循環型社会の実現に貢献できた。生徒たちは、このプロジェクトを通じて、地域貢献の大切さや伝統文化の継承の意義を深く理解することができた。今後は、商品化に向けた取り組みを進めるとともに、地域内外への発信を強化し、本プロジェクトの成果を更に発展させていきたい。

6. 謝辞

本事業の実施にあたり、ご協力いただいた地域の皆様、関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。

(様式4)

環境教育推進校における決算報告書[令和6年度]

学校名 宮崎県立都城商業高等学校

費 目	金 額	備 考
旅費	1,764	講師
需用費		
楮他	72,660	
簀桁他	46,160	
クリアケース他	6,783	
簀桁他	41,800	
紙の素	73,645	
報償費	20,000	講師
使用料及び賃借料		
	12,140	タクシー
	13,500	タクシー
	4,510	施設借り上げ料
	50,000	ジャンボタクシー
	50,000	ジャンボタクシー
合 計	392,962	

宮崎日日新聞 2024年(令和6年)8月20日 火曜日 第 12 版

学校
いいね!
#拡散希望

地域でかつて栄えた文化を復興させたい。郡都市・郡城地区(大船尾地区長、479人)の3年生1人は本年度、かつて同地で盛んだった伝統の能すきと紙の再生プロジェクトに取り組んでいる。地場の人々の協力を得ながら、環境改善の取り組みを目指す。



地方の事業所から説明を受けた花びらなどを組織化
納りとして使った

[illegible]

今般の企業を調査した方たちもレポートする同刊増成プロジェクトマネージャー、桂田浩二さん(左)によると、同刊では昭和30年代からまで最新の組織作りが行われているという。



同様の仕組みで販売していた
紙製の無料となる「カシ」を再
び活用された。（昭和40年）



全圖



和服の原料となる「糸」の発分け方について高松市の繊維造り会社「かんぽう」の山王原、の橋本史三さん(46)なら

今日の推薦人

「プロジェクト制」の主要な子数は一軒きき文化再生の運動活動は、組織の連続です。チーム活動はそれぞれの強みを生かしながら活動していきます。

[illegible][illegible]

まちの記憶は土地の記憶にも残り永遠につながる

[illegible][illegible]

「**限や限十を思ふすと思ふてくる「オオ」の勢力**」

環境教育を推進する本社の取り組みも生かせる本プロジェクト。油谷さんをはる多くの人の協力により思いがけず予期に近づけつつあります。また、この活動の中で主として自ら得た知識、どうすれば伝わったかと思ふ、行動に結びつきと書語を見て、自分の成長を感じています。

今回初めてまたちの協力や会社った人は生徒1人1人の配属に携わり、測るることないでしょう。卒業とそれらの道に基きながら、この経験が生活ととも今後ともなげくことを思っています。

「みなさんが多岐にわたることを全国で行い、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。重視しているのは「まちの整備」です。ここでも同じような面々が広がることで、その土地の歴史や風土の中にも、まちの個性や住民の愛着につながるものがあって、それがまちの個性や魅力に結びつくと考えています。

若い力や地域の文化の継承を目指す本取り組みが「まちの整備」を継承し、地元の自然や産業との掛け合いで地域の未来にどのような形で結びついていくのか楽しみです。

(添付資料2)
MRT 宮崎放送 12月21日(土)放送

紙すきの文化再生に取り組む高校生がキャンドルイベント



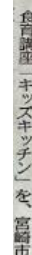
MRT 宮崎放送 特集放送 2025年1月12日(日)

MRT特集

高校で「紙漉き文化再生プロジェクト」 衰退した伝統産業を再び



日 日 新 聞



環境

（上）環境保全活動

環境保全 都城商が全国へ

来月ユース大会 和紙づくり通じ活動

和紙づくりを通じた環境保全の取り組みを続ける都城商業高（都城市の3年生など）が来月、9日、東京で開催される第10回全国ユース環境活動大会に九州・中興地区代表として出場する。生徒らは「自分たちの取り組みが多くの人の心に残るよう目標を持つ」と意気込み、活動している。（木村希）

職人から指導、原料の木採集

和紙づくりを通じて環境保全に取り組む都城商業高の生徒ら。

阿波尾紙業株式会社（和歌山県）で和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

阿波尾紙業株式会社（和歌山県）で和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。都城市下長庚町にあり、和紙の原料となる木を採集した都城教育連校に所属する生徒ら。8年生などが出場した。

ハラール認証 牛肉輸出

カタールへ、西都の企業が出発式

高田町千原農産物のS&Bミート工場（高田町）が、ハラール認証の牛肉を輸出する。輸出する牛肉は、ハラール認証の牛肉を輸出する。輸出する牛肉は、ハラール認証の牛肉を輸出する。

高田町千原農産物のS&Bミート工場（高田町）が、ハラール認証の牛肉を輸出する。輸出する牛肉は、ハラール認証の牛肉を輸出する。輸出する牛肉は、ハラール認証の牛肉を輸出する。

高田町千原農産物のS&Bミート工場（高田町）が、ハラール認証の牛肉を輸出する。輸出する牛肉は、ハラール認証の牛肉を輸出する。輸出する牛肉は、ハラール認証の牛肉を輸出する。

(添付資料4)
全国ユース環境活動発表大会プレゼンテーション資料

ミライへ
つなぐ
手漉き和紙文化

宮崎県立都城商業高等学校
紙漉き文化再生プロジェクト

宮崎県立都城商業高等学校
紙漉き文化再生プロジェクト

宮崎県都市市
豊かな自然

昭和50年代まで盛んだった
手漉き和紙文化

衰退

手漉き和紙文化再生
×
環境保護

文楽講座「フィールドワーク」

豊後市や国府について文楽講座
手漉き和紙を使用したポスターの読みと発表

和紙や和紙によるレクチャー

手漉き和紙の良さも実感！

フィールドワーク

自然を肌で感じる。和紙の原料は自然に！
和紙に感謝

産業廃棄物も
漉き込んで
再生させちゃおう！

和紙にはいろいろ活用！

和紙の活用
和紙の活用
和紙の活用

和紙の活用
和紙の活用
和紙の活用

和紙の活用
和紙の活用
和紙の活用

手漉き和紙ワークショップを実施

手漉き和紙ワークショップを実施
手漉き和紙ワークショップを実施
手漉き和紙ワークショップを実施

手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用

手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用
手漉き和紙の活用

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

和紙あかReナイト

和紙あかReナイト
和紙あかReナイト
和紙あかReナイト

どんなに情報化が進んでも、
大切にしたいのは
ひとの手でつくり出す
もののぬくもり。

ミライへつなごう
手漉き和紙文化。

ご参加ありがとうございました

和紙あかReナイト